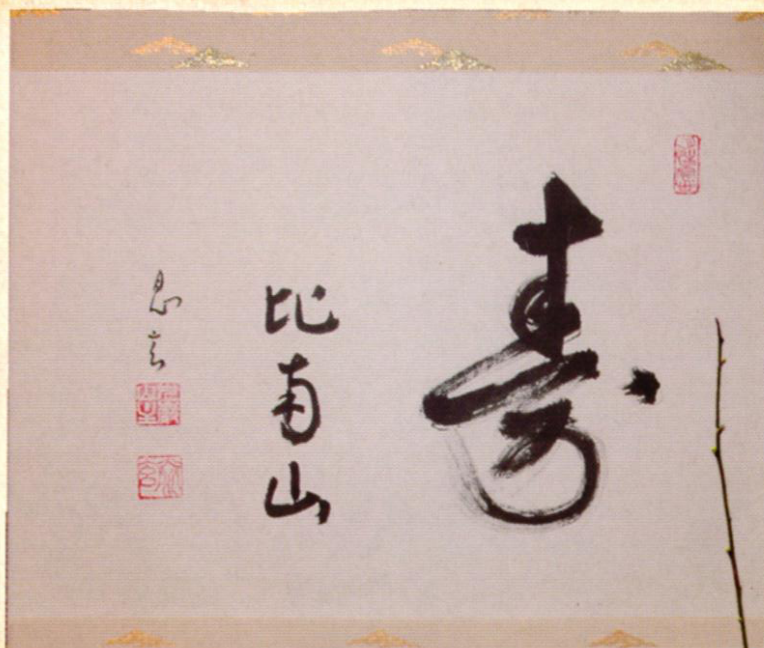




金澤北ロータークラブ



寿比南山「じゅはなんざんにひす」

月心寺28世・勝田 浩之(泰玄)書 出典一南史(中国南朝の歴史書)

●意味 南山は、中国陝西省西安(唐の都長安)の西南にある終南山のことであって、この山自体がひとつの固い岩石でできており、いつまでも永く崩れることがないと信じられた山である。その終南山に人の寿命を比し、幾久しく健康で元気に日送りができることを願った揮毫である。

むすひやなぎ 結び柳

茶道では、正月の床の間に枝を長く垂らして入れる柳を掛け柳とも言う。柳は、陽の気を招くとされ、枝の中程で一つの輪で結ぶのは、一年間の無事と生命力の強さを象徴したものとされる。又、これは一陽来復(冬が終わって春がくることと、悪から善に向かうこと)を示すと共に、新年の祝意を表したものである。

月心寺主・勝田 浩之

— 初春を迎えて —

会長 高 島 菊 丸

皆様、あけましてお目出とうございます。
昔より申、酉で出して戌、亥でとりもどす
と言われているように一つの転機ではない
でしょうか。国際ロータリーも100周年が
すぎ次の100年に向けて歩み始めたところ
です。

去年は良い事も悪い事も「愛」に関わって
いたようです。今年も成年でもあり多くの
愛情を受けた子供達が一人でも多く生まれ
少子化に歯止めがかかれば良いのと思ひ
ます。経済的には日本を始め世界中が発展
する事で国際ロータリーが伸びて地域の
平和と人類のしあわせ

に貢献出来る事を心より
願うものです。

すべてのロータリアン
が四つのテストに照ら
して行動し「超我の奉
仕」を目指すようにお
互い頑張りましょう。



— 梅開早春(梅早春を開く) —

幹事 勝 田 浩 之

新春を迎えられました事をお喜び申し上げ
ると共に、今年のご多幸をご祈念申し上げ
ます。

上半期は、与えられた務めを全うする為に、
ただ我武者羅に過ごして参りました結果、

多々ご迷惑をお掛け致し申し訳なく思っ
ております。そこで下半期は、己にじっくり
と焦らず、慌てず、驕らずのこころを忘れ
ること莫れと叱咤激励し任務を遂行致した
いと思っております故、何卒ご鞭撻の程宜
しくお願い致します。

さて、徳川時代の檀家制度が現在まで尾を
引き、まるで死者を扱うのが僧侶の生業と
なってしまう、それが寺院佛閣を維持して
行く為の安易な経済的手段となってしまう
たのも事実であります。

しかし、それが本来の生き方でないとする
ならば僧侶の本分とは一体何なのかと自問
自答する時期もありました。古来より僧侶
や出家者は、城郭遊里を離れ、深山幽谷に
その修行の場を探し求めました。それは、
中国唐代の寒山や拾得。日本では最澄、空海、
道元禅師がそうであったように。しかし、
深山幽谷には悩める者はおらず、現代の社
会にこそ悩み、病んでいる者がいるのなら
ば、古来の僧達の様にも山にこもるのは現
代社会からの逃避者として受け止められて
も仕方がないのかもしれませんが。

表題は、道元禅師著「しょうぼうげんぞうばいか正法眼蔵梅華の巻」が
出典であります。「がんしょうけいそ ばんもつみなしん元正啓祚・万物咸新・
ふしおもみればだいしゆ うめそうしゆんをひらく伏惟大衆・梅開早春」とあります。

『正月元旦の年の初め、この世の中のありと
あらゆるもの全てが新たである。さあ皆さ
んよくよくこころに思っみなさい。梅は、
早春を開くのです。』—こんな意味でしょ
うか。ここで注意しなければならぬのは
「梅早春を開く」の言葉使いです。普通なら
ば「梅早春に開く」と言うものををとして

あるのです。一般には春になったから梅が開くのですが禅師は敢えて梅が主体として春を開いて行くと言うのです。ならば春を開いて行く梅とは一体何でしょうか。

梅とは自分自身を示していると言えます。自分自身が暖かな春を切り開いて行くというのです。漢字能力検定協会は今年の世相を現す一字漢字を「愛」と決定しました。近年に無い暖かさを感じる一字だと思っていたら、人に対しての思いやり、いたわりの無いこの殺伐とした現代に不足しているものが愛だと決定したのが一つの理由でもあったと知った時は、何だか淋しさが込み上げてきました。

然るに、職業を通して又職業を越えての社会の奉仕は、僧侶の一つの本分と言えるのではないか—そう思う様になってきたのは間違いではない筈であります。物とは言わずころでもそして又、ひとつの笑顔でも一言の暖かな言葉でも人に差し上げて行く生き方。

佛教では感謝報恩と呼ぶのがそれに当たるでしょうか。

そうした人生の生き方を学びつつ生きて行くことが暖かな春を開いて行く生き方でありましょう。今年も何卒宜しくお願い致します。

まなこ閉じ 静かに思う今日までの
己の命限りなき 尊き命に支えられ
生かされいる この我が身

平成 18 年丙戌 ひのえいぬ 佛紀 2572 年

第1563回例会

12月8日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

金沢聖霊総合病院 院長 大下陸郎氏
「その話はウソでした④」

2. 出欠

出席 42 名 欠席 24 名
出席率 63.64 % ビジター 13 名

3. 来訪者(敬称略)

小松東 RC 山腰 茂
金 沢 RC 織田義夫
金沢東 RC 諸江賢二
金沢西 RC 川口征夫 坂本藩應 坂井美紀夫 辻 卓
香林坊 RC 谷本大幸
百万石 RC 二木秀樹 炭谷亮一 岩倉舟伊智 野城勲
石丸幹夫

4. 幹事報告

- ・本日例会終了後、次年度理事会を開催いたします。
- ・12月15日(木)は年忘れ会です。

ニコニコボックス

百万石 RC 炭谷君

本日は、IMのお願いに参りました、よろしくお願ひします。

百万石 RC 二木君、岩倉君、野城君

IM全員登録、感謝します。

百万石 RC 石丸君

お久しぶりです、IMには宜しくお願ひいたします。

高島君、勝田君

大下先生には、本日も宜しくお願ひ致します。

川面君 講師に大下先生をお迎えして。楽しいお話も後二回となりました。今回も宜しくお願ひします。

磯野(洋)君 本日は私の誕生日です。皆様、私のためにお集まり頂き、ありがとうございます。先週のクラブ総会にて、次年度の副会長という、とんでもないプレゼントを下さり、行為と友情に欠けているのではないかと困り果てています。ニコボックスの気分ではありませんが、誕生日ですので。

磯野(進)君 11月11日のマージャン大会で優勝しました。年間優勝を目指して頑張ります。

木下君 このたび、自民党市議団の会長をすることになりました。責任の重大さに戸惑っております。また、組織拡大特別プロジェクトチーム責任者も受けることになりました。今後とも宜しくお願ひ致します。

合計 19,000円(累計 335,000円)

第1564回例会(年忘れ家族会)

12月15日(木) 雪 18:30~21:00 松魚亭

1. 出欠

出席 40 名 欠席 26 名
出席率 60.61 % ご夫人 18 名

2. 《例会》

- ① 点鐘
- ② ローターリーソング「それでこそロータリー」
- ③ 会長挨拶

- ④ 松魚亭さんへお歳暮
- ⑤ 幹事報告
- ⑥ ニコニコボックス披露
- ⑦ 点鐘

《年忘れ会》

- ① 開会の挨拶 竹中親睦委員長
- ② 乾杯 高島会長
- ③ 会員作品展抽選
- ④ 東芸妓さんの踊り
- ⑤ 歓談
- ⑥ お座敷太鼓
- ⑦ 閉会の挨拶 小間井副会長
- ⑧ ロータリーソング「手に手つないで」

ニコニコボックス

高島君、勝田君

本日は作品展出品の作家の皆様。ありがとうございます。また親睦委員、ならびに友好委員の皆様、本日はご苦勞様です。

親睦委員会一同

本日は、お足元の悪い中、年忘れ会に参加して頂きまして、ありがとうございます。楽しいひと時をお過ごし下さい。

越野君 久しぶりに出て来ました。皆様よいお年をお迎えくださいますように。なお小生、来年は年男です。

川口君 誕生日に素敵なシクラメンを届けていただき、ありがとうございます。

また、夜間例会で弊社製品をお取り扱いいただき、重ねてお礼申し上げます。

磯野(進)君 北遊会、栗津の戦いで優勝させていただきました。年間優勝を目指して頑張ります。

合計 18,000円 (累計 353,000円)



理 事 会 報 告

12月8日(木)出席者14名

◆ 議事項

- ① 金沢8RC新年合同例会の件
平成18年1月18日(水)日航ホテルにて
現在31名の出席者
- ② IM(都市連合会・百万石RCホスト)の件
平成18年2月12日(日)全員登録
入会5年未満のパネラーとして吉井会員にお願いする
テーマ「21世紀に生きるロータリークラブ」
※平成18年2月16日(木)の例会をIMに振り替え。

◆ 各委員会報告

- ・ 友好委員会
平成18年4月6日(木)お花見例会に京都洛北RCが来会
4月7日(金)に合同ゴルフコンペを計画中
- ・ 例会委員会
例会場設置のロータリーソングの歌詞看板作成中

12月クラブ日誌

- 1日(木) クラブ年次総会 松魚亭にて
- 8日(木) 12月定例理事会 松魚亭にて
次年度理事会 松魚亭にて
- 15日(木) 年忘れ会 松魚亭にて

第53回 北遊会成績

平成17年12月12日(月) 栗津グランドホテルにて

- 優 勝 磯野 進吾
- 準優勝 銭亀 賢治
- 第3位 渡邊 聰
- 第4位 本多 弘夫
- 第5位 長原 俊之
- B B 高島 聰

参加者

米沢真二、濱井弘利、木村功一、木下和吉、駒栄敏雄

昨年度北遊会納会麻雀大会が栗津グランドホテルにて12月12日行われました。

多数の参加者で和気あいあいの中にも年間総合優勝も含めてそれぞれの技量を発揮し上記の結果でした。

又、オプション延長戦も米沢真二会員から戴いたお酒の影響? も入り、愉快的楽しい納会になりました。

次回も多くの皆様の参加をお待ちしています。 国土無双

講 話 予 定

1月26日(木)

講師 大下陸郎氏 金沢聖霊総合病院 院長

2月2日(木)

講師 中西静子氏 真味の会講師



会 長：高島 菊丸
会長エレクト：米沢 真二
副 会 長：小間井宏尚
幹 事：勝田 浩之
副 幹 事：松田 忠秋

S A A：吉井 清
会 計：濱井 弘利
広報委員長：中村 芳明
会 員 数：67名
クラブ設立：昭和48年10月3日

例 会 日：木曜日 12:30~13:30
例 会 場：松魚亭 金沢市東山1-38-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事 務 局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882
E-mail:k-kitarc@aqu.hokuriku.ne.jp